

熊野 vs. 科学 ふるえる脳を救うもの

第6回熊野学フォーラム

2013年1月13日（日）13:00～17:00

明治大学駿河台キャンパス アカデミーホール



熊野御燈祭（新宮市）
和歌山県指定無形民俗文化財

主催 新宮市・明治大学

後援 文化庁・和歌山県・朝日新聞社・日本経済新聞社・NHK和歌山放送局
国際熊野学会・熊野学研究委員会

熊野 VS. 科学

◆開演 (13:00) あいさつ

◆講演 (13:10~15:10)

●13:10~13:30

「熊野の奥に墜落しよう」

やまおり てつお
山折 哲雄さん

●13:30~14:00

「遊行廻国する『生き仏』に映る熊野」

たまむろ ふみお
圭室 文雄さん

●14:10~14:40

「石の力」

うえしま けいじ
植島 啓司さん

●14:40~15:10

「永遠の故郷のクオリア」

もぎ けんいちろう
茂木 健一郎さん

くまのわろうだ
◆熊野円座 (15:20~17:00)

「熊野学実験室」

山折哲雄さん 圭室文雄さん
植島啓司さん 茂木健一郎さん



わろう だ い し
円座石
世界遺産「熊野古道」の路傍にある。熊野の神々がここに集い、茶を飲み談笑したという。
(新宮市熊野川町)

☆交流の夕べ (17:20~19:00)



山折 哲雄
(宗教学者)

1931年サンフランシスコ生まれ。国立歴史民俗博物館教授、国際日本文化研究センター所長などを歴任。現在、同センター名誉教授。著書に『道元』『こころの作法』『近代日本人の宗教意識』など多数。



圭室 文雄
(日本史研究者)

1935年神奈川県生まれ。現在、明治大学名誉教授。専門は日本宗教史。著書に『江戸幕府の宗教統制』『神仏分離』『日本仏教史 近世』『葬式と檀家』『江戸時代の遊行聖』など多数。



植島 啓司
(宗教人類学者)

1947年東京都生まれ。ニュースクール・フォー・ソーシャルリサーチ客員教授、関西大学教授、人間総合科学大学教授などを歴任。著書に『世界遺産 神々の眠る「熊野」を歩く』『聖地の想像力』など多数。



茂木 健一郎
(脳科学者)

1962年東京都生まれ。ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー。「クオリア(感覚の持つ質感)」をキーワードに脳と心の関係を研究。著書に『脳と仮想』『ひらめき脳』『脳とクオリア』など多数。

並行開催 パネル展 クマノに旅しませう ~熊野時空飛行~

明治から昭和初期に発行された「絵はがき」。港や駅、街並み、乗り物、人々の装いなどかつての熊野の風景が生き生きと写し出されています。東日本からやって来た「かんとべさん」の名を借りて、近代の熊野を旅します。

アカデミーコモン1階で開催中!